

## 市少年消防隊、訓練始まる

7月1日、市少年消防隊の訓練が市消防本部前と岩村消防署前で行われました。同消防隊は市内の小学5、6年生156人で組織され、5月6日の入隊式後、初めての訓練となりました。この日は131人が訓練に参加し、初めに消防署職員から「地域の一員として火災予防に気を付けてください」とあいさつがありました。その後隊員たちは、消火器取り扱い訓練、放水訓練、救助器具で鉄パイプの切断体験などを行い、火災予防について学びました。



▲放水訓練をする少年消防隊の皆さん

## 恵那北中と串原中が交流会

7月4日、恵那北中学校でふるさとふれあい交流事業が開催され、串原中学校生徒16人が同校を訪問し、交流を深めました。

串原中学校生徒は、学年・学級に分かれて、一緒にソフトバレーやゲームなどのレクリエーションや給食を食べ交流を深めた後、ランチルームで学校紹介、合唱により交流しました。この事業は、市長と中学生との懇談会で提案され、昨年から行われているもので、中学校での交流は初めてとなりました。



▲恵那北中のランチルームで両中学校生徒と一緒に合唱

## 水面のスイレンにうっとり



▲池一面に咲き乱れるスイレンの花を眺める参加者

6月30日、長島町まちづくり委員会が作成したウォーキングコース「スイレンと西行遺跡を巡る」を歩くイベントが開催され、約60人が参加しました。

ウォーキング協会の認定を受けた地域の指導員から靴の履き方などの指導を受けた後に、中山道、西行法師ゆかりの史跡など地域の文化財や草花を見ながら歩きました。中でもスイレンの花が水面いっぱいに咲く池では、ちょうど満開で皆さんも絵画を思わせるその美しさに盛んに写真を撮っていました。

## 大自然の中でふれあいうオーク



▲自然にたたくむイワクラを珍しそうに眺める参加者たち

7月1日、山岡町のイワクラ公園をスタートに、第2回ふれあいうオークとささゆり祭りが開催されました。これは、NPO法人まちづくり山岡・ふれあいうオーク委員会・ささゆり委員会が主催し、自生のささゆりを眺めながら大自然を感じてもらふことと、イワクラの森にある神様の御霊があまくだられて乗り移らるといふ「イワクラ(岩)」の存在を知ってもらおうと計画。約200人が自然を満喫しながら、「イワクラ」を興味津々に眺めながら歩きました。

## ニュースを読んだよ

6月23日、岩村公民館においてNHKファミリー放送体験クラブが開催され、約90人の子どもたちが訪れました。普段、近くで目にすることのないカメラやスタジオ設備を前に、子どもたちは楽しそうに説明を聞いていました。

会場では、カメラマンやお天気キャスターなどそれぞれの役割に分かれ、実際の番組制作の体験をしました。細江凜さん(山岡町・9歳)は「アナウンサーが一番楽しかった」と笑顔で話してくれました。



▲担当者からカメラの使い方を学ぶ子どもたち

## 先輩から進路のヒントを得る

6月23日、明智中学校体育館で「進路を考える親子の集い」が開催され、同校生徒とその保護者約270人が参加しました。これは、同校を卒業した先輩の話を親子と一緒に聞くことで、進路について共に考え、話し合うことを目的に毎年開催しています。

今回は、現役高校生や教師、自営業を営む先輩4人から「自分の進路は意思を持って、チャレンジと努力を惜しまないこと」など、体験談から生徒にアドバイスし、生徒らは真剣に耳を傾けました。



▲アドバイスをくれた先輩へ積極的に質問する生徒

## 観て・聴いて・参加する



▲中野方小学校児童をはじめ出演者など全員で合唱

6月22日、中野方小学校体育館で第8回ホテルコンサートが開催され、約300人が同校児童らの合唱や「杉ちゃん&鉄平」のバイオリンとピアノの演奏を楽しみました。地域のバイオリン講座生の演奏やPTAの皆さんの合唱など、100人以上が出演したほか、「杉ちゃん&鉄平」の演奏では、クラシック音楽に童謡やテレビ主題歌を組み合わせた曲や、バイオリンで列車の踏み切りの音を再現するなど、聴いても観ても楽しいコンサートになりました。

## 飯地の里山に響く調べ



▲尺八と箏の優しい調べに聞き入る参加者

6月23日、飯地町の沖田コミュニティセンター悠楽館<sup>ゆうらくかん</sup>で飯地町まちづくり委員会が、ほたる祭りを開催し、参加した皆さんは、自然あふれる里山に響く箏と尺八の優しく穏やかな調べを楽しみました。

会場では、飯地小学校児童が描いた絵を張り付けた竹筒の中に、ロウソクを灯した明かりの列が通路を照らし、箏曲生田流宮城社大師範の谷澤千早さんから3人と都山流尺八大師範の井野嵯山さんが荒城の月など5曲を披露しました。

## 『諸国旅めぐり一名所・名物・名産品』

中山道広重美術館  
企画展覧会

■会期  
7/20(金)～9/2(日)

■入場料 ▷大人=500円  
(団体400円) ▷小・中・高  
校生=無料

毎週月曜日(祝日を除く)、  
祝日の翌日(土日・祝日を除く)休館。

※9/3(月)～5(木)まで展示替  
えのため休館



歌川広重  
京都名所之内 四条河原夕涼  
栄川堂

大判錦絵揃物の内  
天保5年(1834年)ころ

本展覧会では、歌川広重の描いた諸国の名所・名物・名産品の浮世絵を中心に展示しています。図版は歌川広重「京都名所之内 四条河原夕涼」。鴨川の四条河原は、見世物や曲芸、芝居の小屋がかかるなど、京都一の歓楽街であると同時に、夏の間は夕涼み客でにぎわいました。6月7日～18日(いずれも旧暦)までの夕涼み期間は、川中に床を並べて多くの人が涼を求めにやって来ます。京都の夏の風物詩の雰囲気を伝える一図です。

なお8月14日(火)のイベント「ゆかたで涼む美術館」は、市民を対象に入館無料とし、夜間も開館します。また浴衣で来館の方には、浮世絵(拡大図)をバックに写真撮影サービスを行います。美術館で夕涼みを楽しんでみませんか。

## 子育て・親育ちフォーラム家田荘子講演会

市PTA連合会と市青少年育成市民会議が他団体と協力して、子育て・親育ちフォーラム「家田荘子講演会」を開催します。

今回講演をいただく家田荘子さんは、これまで光の当たらなかった世界や人々にスポットを当て、時間をかけた取材により、現代社会のさまざまな側面に鋭い視点で問題提起する異色の作家です。

子どもたちは、今や小学生からいろいろな問題に直面しており、悩みながらも大人にたくさんのメッセージを送っています。

子どもたちが、どう苦しみ、どのように親たちと克服していったのか。「見たくない、知りたくない」ではなく、知って、話して一緒に考えてみませんか。



□とき 8月26日(日)午後2時開演(午後1時半開場)

□ところ 恵那文化センター 大ホール

□講師 家田荘子さん 演題「ティーンからのメッセージ」

▷プロフィール=日本大学芸術学部放送学科卒業。女優、OL、セールスレディ、取り立て屋、編集アシスタント、ウエイトレス、コンパニオンなど10以上の職歴を経て作家に転身。小説、エッセイ、コミックの原作などの作品も数多く発表しているが、必ず本人に会って取材し、真実を伝えるノンフィクション作品に定評があります。代表作には「極道の妻たち」や「私を抱いてそしてキスして～エイズ患者と過ごした一年の壮絶記録～」(第22回大宅壮一ノンフィクション賞受賞)などがあります。

□入場 無料

□問い合わせ 社会教育課 坂本(内線220)

## 武並町にふれあい販売所

7月7日、武並町ふれあい会館(旧武並公民館)で地域の新鮮な野菜などを販売する「武並町ふれあい販売所」がオープンしました。

初日は、もちつきイベントが行われ、小さな子どもからお年寄りまで多くの人でにぎわいました。販売所は、武並町まちづくり町民会議の食農部会が、地産池消と地域の触れ合いを進めるため、毎週土曜日の午前8時から正午まで開催され、野菜のほか花の苗、五平もち、手芸作品などが販売されます。



▲「おいしいおもちできるかな?」

## 県内で初の風力発電施設

7月19日、県内で初となる風力発電施設の竣工式が、上矢作町大船山で行われました。風車の支柱の高さは65m。ブレード(羽)の大きさは直径44mが6台と48mが7台、計13台が設置されました。年間に17,700kWhワット時の発電量を見込んでおり、これは約5,000世帯で使用する電力に相当します。

竣工式には約70人が出席し、市長は「弁慶杉や松並木などの自然とうまく調和した観光資源にしていきたい」とあいさつをしました。



▲上矢作町大船山山頂付近に完成した風力発電施設

## 美しい阿木川ダム湖を目指して



▲空心菜の苗を1株ずつ丁寧に移植する参加者

7月4日、阿木川ダム湖で恵那農高の生徒や地元ボランティア23人が、空心菜の苗の植付けを行いました。これは、5年前に大量発生したアオコにより汚染された阿木川ダム湖を、根の栄養吸収力の強い空心菜を湖上栽培することで水質浄化を図ることを目的に、平成16年から行われています。この日は、空心菜の苗640株を、30平方mの栽培コンテナへ移植。1カ月ほどで30cmほど成長すると最初の収穫が行われ、ダムで食用として販売されます。

## 市民参加で「幻の霧ヶ城」



▲お城の完成を楽しみに石垣を描く子どもたち

毎年、岩村城址の山中にライトアップされる『幻の霧ヶ城』を新しく作成するイベントが、7月7日、恵南商工会岩村支所で開催され、子どもから大人までの参加者がペンキでお城を描きました。岩村城再建構想実行委員会が、夏の風物詩にもなっている同城のパネルの老朽化が進んでいることから、地域の皆さんと一緒に新しく作成しようと企画。城はパネル板54枚を組み合わせで構成され、参加した子どもたちは楽しそうに城の石垣部分を描きました。